

石田利美議員



問 ふくしのまちづくり基本構想・基本計画は 答 基本構想実現に向けて最大限努力する

民設・民営の考えは

町長は記者発表で、令和6年度にふくしのまちづくり基本構想実現に向けたコンサルティンク業務や町民主体の推進組織設置など関連事業の補助を行い、福祉施設は民設・民営で行うことを公表したが、考えは。

奥山町長

基本構想や基本計画が出来ても誰が施設の整備や運営をするのが一番重要だったが、新たな施設の整備運営を、当別町で先進的な福祉事業に取り組み、様々な実績を有する「社会福祉法人ゆうゆう」から内諾をいただいた。

今回の事業は、全国的にも前例のない取り組みと伺っており、今後は町と社会福祉法人ゆうゆう、社会福祉協議会の三者による包括連携協定に基づき、多くの町民にも協力をいただきながら、基本構想の実現に向けて最大限の努力をしていく考えである。

○再質問

建設に掛かる費用は。

保健福祉課参事

総事業費は概算で30億円を超える金額が必要になると考えている。

○再質問

土地は町の所有地だと思うが、施設はどちらの財産になるのか。

保健福祉課参事

建物は民間が建てるので民間の財産になる。

○再質問

この大プロジェクトは、多額の事業費を掛けるため、将来的に有効的な建物で、健全経営をすることが大事だと思う。

令和9年に福祉施設建設完了予定だが、令和8年1月には町長選が行われると思うが、出馬する覚悟があるのか。

奥山町長

このプロジェクトを軌道に乗せて、町民の皆さんが安心して暮らせる町にしていかなければ、本能的には任期を全うした上で考える必要があると思っている。



▲町・社会福祉法人ゆうゆう・社会福祉協議会による包括連携協定を締結し、基本構想実現へ動き出した

要望

まずはこの課題を解決するため誠心誠意努めたい。

課題解決にはまだまだ時間がかかるので、奥山町長は次期選挙も出馬して、意思表明をしっかりやって頂きたい。